

繁忙期における『CONPAS』（新・港湾情報システム） の試験運用結果報告 ～GW前後におけるCONPASの試験運用～

- 繁忙期となるGW前後（9日間）に、CONPASの試験運用を実施しました。
（コンテナターミナルに来場する車両台数は通常期※1に比べ約1割以上増加）
- 予約時間枠の利用率※2の向上やCONPAS予約車の待機時間削減効果が確認でき、繁忙期においてもCONPASの有効性が確認できました。

※1 通常期の台数は、搬入については平成31年2月～3月に実施した試験運用時の土日祝休を除いた値。搬出については、平成30年11月～12月に実施した試験運用時の土日祝休を除いた値。

※2 設定した予約時間枠の総数に対して、実際に予約された件数の割合。

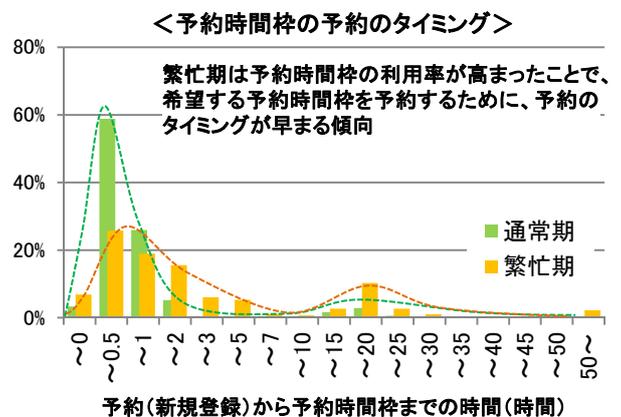
1. 試験運用の結果

（1）搬出入台数の状況

- 今回の試験運用は、繁忙期となるGW前後の9日間を対象に実施しました。
- コンテナターミナルに来場する車両台数は通常期に比べて、搬入で約2割増、搬出でも約1割増となり、混雑している状況下で試験運用を実施しました。

（2）予約時間枠の利用状況

- 繁忙期は通常期と比較して予約時間枠の利用率が高く、特にゲートの通過に比較的時間を要する搬入においては、予約時間枠の利用率が通常期と比較して約2倍に高まり、CONPASに対する高いニーズが確認されました。
- 予約時間枠の利用率が高まったことで、希望する予約時間枠を予約するために、予約のタイミングが早まる傾向がみられました。



（3）繁忙期におけるゲート前待機の状況

- CONPAS予約車のゲート前通過時間※3は概ね通常期と変わらず、CONPAS予約車は円滑にターミナルに入構することができました。
- 一方で、CONPAS非予約車のゲート前通過時間が通常期と比べ大幅に増加（通常期の約5倍以上）しました。

※3 コンテナヤード前の車列ができる区間（待機場入口～ゲート）の走行所要時間。

2. 今後の予定

- さらに搬出入コンテナを対象とした事前予約車数の増加を図りながら、事前予約制度の効果を検証するため、引き続き試験運用を実施をしていく予定（次回は令和元年6月～7月頃を予定）です。
- 引き続き、利用者のご意見も聞きながら、CONPASの普及率向上、さらには横浜港の他ターミナルや他港への展開を目指して検討を進めていきます。

3.試験運用の概要

(1) 試験運用の目的

- セキュリティを確保しつつ、手続きの迅速化、ゲート前の混雑緩和等を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的に『CONPAS』の開発を行っています。
- 今般、ゴールデンウィーク前後の繁忙期における試験運用を行い、事前予約制度の実現にむけた検証を実施しました。

(2) 実施概要

- 期間：平成31年4月22日(月)～5月10日(金) ※土日祝休除く
- 場所：横浜港南本牧ふ頭コンテナターミナル
- 実施内容：搬出入コンテナ(実入り・空)を対象とした事前予約制度の運用
- 協力：神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会
南本牧ふ頭コンテナターミナル

(平成30年1～3月、8～9月、11～12月、平成31年2～3月の試験運用に引き続き、5回目の試験運用となります。)

(3) 試験運用のしくみ

- 予約は、原則、搬出入日の7日前の14時からゲート到着の直前まで可能
- 予約時間枠(3分単位)の前後30分以内に到着した場合のみ、試験運用車両レーンを走行可能

(予約時間の前後30分間に到着することができなかった車両は、一般車両と同様の走行経路を走行)



【運用ルールのイメージ(9:00～9:03に予約した場合の例)】



お問い合わせ

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 クルース振興・港湾物流企画室 公平・森川
TEL 045-211-7437
MAIL pa.ktr-portlogistics@ml.mlit.go.jp